

【単年度事業評価様式】

青葉区地域子育て支援拠点事業
令和7年度重点目標評価結果・令和8年度重点目標

事業実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日(5年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブパレット 青葉区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青葉区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和7年度重点目標の評価

令和7年度 重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 親子の居場所事業 多様な養育者と子どもが訪れ交流し、養育者が主体的に過ごせる居場所を実現する。 2 支援者ネットワーク事業 これまで構築してきた地域の子育て支援者ネットワークをより活性化し、情報収集・提供機能をさらに活用して親子を地域へつないでいく。 3 情報収集・提供事業 養育者が手に入れやすい、目につきやすい様々な媒体を通じて、子育て支援情報を提供する。 4 人材育成・活動支援事業 広く市民に対して、子育て家庭を温かく見守る地域全体での雰囲気づくりに取り組む。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 親子の居場所事業 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な養育者と子どもが安心して来所できる雰囲気づくりや企画の実施、環境整備を行う。 ・養育者が交流し主体的にひろば運営へ関わられるよう、スタッフひとりひとりが意識を高め、そのための仕組みづくりを行う。 ・多様な養育者と子どもの来所のきっかけになるような周知の方法、内容の検討を行う。 ・多くの転入者が見込まれる地域において、「金曜日はふらっとラフールたちばな台」を開催することで、多様な養育者が利用できる機会をつくる。 2 支援者ネットワーク事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援者が他の団体の活動を理解し共有できる機会を設けるとともに、拠点が集めた情報を活用し親子を地域へつなぐことができるよう、地区別子育て支援ネットワーク連絡会を運営する。 3 情報収集・提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信について、Aonicoから拠点のホームページへの移行を円滑に行うとともに、利用者の活用につながるような広報を実施する。あわせて、パマトコやWEB版子育て情報の周知、ワクワクマップの更新に取り組む。 ・おでかけラフール開催を通して、地域の支援者とのつながりをつくとともに、拠点機能の周知や拠点から離れた地域の養育者の声の収集を実施する。 4 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを応援する機運を高めるために、多様な世代に向けて子育て支援の必要性を周知するとともに、積極的な参加につながる企画を実施する。

取組の成果	<p>1.親子の居場所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉台は、館内への入館を躊躇する人に向けてビルの入口に手書きのメッセージボードを作成、1階の掲示板の活用、エレベーター内にラファールの案内掲示を行い、ビル6階までの入館のハードルを下げる工夫を行った。 ・利用者が主体となって参加できる企画を積極的に取り入れた。きらきら星演奏の会、人形劇の会、ハンドベルweek、ぬりえの会では、利用者同士の交流と主体性が促進され、互いに関わり合いながら楽しむ姿が多く見られた。また、自ら進んで参加しようとする意欲の向上にもつながった。 ・多様な人に向けた企画の継続開催に加え、青葉台同ビル内の訓練室や市ヶ尾ひろば2を活用し、年齢や動きが大きい子どもたちもダイナミックに過ごせる場の提供を行った。 ・出張ひろば「ふらっとラファールたちばな台」を開所し、一年で1300人の来所があった。地域のボランティアが多数活動した。 <p>区でも乳幼児健診の案内にチラシを同封するなど周知方法を工夫し、居住地域に合わせて積極的な紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から切れ目のない支援に繋がれるよう、産前産後ウエルカムカードの作成協力し、妊娠後期の手紙に同封発送した。また、産前産後のからだケアを今年度新しく企画し、区・拠点で協力して実施した。 <p>2.支援者ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別ネットワーク連絡会の事務局として、連絡会を運営した。連絡会では、ラファールが行っている機能の紹介と各地区ごとの思いを大切に、活動を後押しした。 ・拠点が収集した情報を活用し、親子を地域につないだ。 ・サークル支援について、区と拠点との役割や関わり方について検討した。サークルからの運営に関する悩みを聞き、解決できる方法をともに考えた。 ・拠点に行きにくく子育て資源が少ない、周知が足りない地域の親子と支援者をつなぐために、出張お出かけ相談ひろば(お出かけラファール)を14回開催し多くの親子に地域の資源を周知できた。 <p>空白エリアを中心に、場所の選定について一緒に検討した。</p> <p>3.情報収集・提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aonicoからの移行を機に拠点ホームページをリニューアルし、地域の支援者の発信する情報を集約し、利用者が活用できる情報発信方法を構築した。 ・WEB版子育て情報ファイルやワクワクマップの作成を通じ、親子や地域の支援者が必要な情報にたどり着きやすい方法を提供した。 ・出張企画の実施を通じて地域の支援者との連携を深め、拠点機能および地域資源の周知拡大を図った。また、おでかけラファール等により拠点から遠い地域の養育者の声を収集し、地域課題やニーズの把握に努めた。 ・拠点自体の周知についてパンフレット等の配布協力、拠点ホームページ改修への協力、区広報への掲載、関係機関の会議(ネットワーク連絡会等)の場等での周知等を行った。 <p>4.人材育成</p> <p>区民が誰でも参加できる支援者向け・区民向け・孫育て講座などを実施し、幅広い世代に参加を促した。あわせて、学生の職場体験や母性看護実習の受入れを行うとともに、子どもアドベンチャーカレッジやおおばユーストライの活動受入れ先としても参画した。さらに、出張ふれあい体験授業に参加し、生徒と親子が交流できる機会をつくった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や地域の人为主体的に活動できるよう、ボランティアの種類や取り組み内容を館内掲示やHP等で知らせ、問い合わせに対して丁寧に対応した。 ・おおば広場会議への参加、研修では講師を担い、参加者の普段の活動と全体の計画への紐づけのきっかけとなるよう働きかけた。
取組の課題	<p>1 親子の居場所事業</p> <p>多様な養育者と子どもの来所に向けて工夫したが、居づらさを感じる人もいた。今後も継続して誰もが過ごしやすいひろばづくりを継続していく。</p> <p>2. より効果的な出張ラファール実施に向け、開催場所や開催時期・回数等を検討する必要がある。</p> <p>3. ホームページをリニューアルし、地域情報ページを新設したが、閲覧数増加にはつながっていない。</p> <p>4. 幅広い世代にさらに参加を促していく必要がある。</p>

次年度重点目標

令和8年度 重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 親子の居場所事業 多様な養育者と子どもが訪れ交流し、養育者が主体的に過ごせる居場所を実現する。 2 情報収集・提供事業 養育者が手に入れやすい、目につきやすい様々な媒体を通じて、子育て支援情報を提供する。 3 人材育成・活動支援事業 広く市民に対して、子育て家庭を温かく見守る地域全体での雰囲気づくりに取り組む。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 親子の居場所事業 多様な親子とさまざまな年齢の子どもたちが過ごせる場を確保する。 外国にゆかりのある養育者が孤独を感じることなく、安心してくつろげる居場所について、当事者とともに考える。 2. 情報収集・提供事業 情報発信について工夫を重ね、ホームページや地域情報ページの案内チラシを随時更新し、利用者や支援者がアクセスしやすくなるよう改善する。 青葉区子育てワクワクMAPを更新し、紙媒体とWEBの双方から情報を得られるようにする。 3. 人材育成・活動支援事業 ふれあい体験授業などで学生との交流の機会を増やす。区民に向けた発信の機会を多数提供し、有効に活用する。